

『光と風と地域とともに』



吉川事業所開設しました!



ダイニングの様子



風呂場から見える風景

かねてよりお知らせしておりましたとおり、吉川での新規事業が7月1日に開設しました。デイサービスセンター祥雲館『あじさい』、ショートステイ祥雲館、グループホーム祥雲館の3事業所を、立ち上げるはこびとなり、われわれ祥雲館スタッフ一同、気持ちを新たに業務に励む所存です。今回の新規事業のコンセプトは、「光と風と地域とともに

に」です。風光明媚な吉川の自然を十分に満喫していただけるよう、建築設計、色彩、居住空間にこだわりました。今回はデイサービスの紹介をいたします。デイサービスの目玉は、ズバリ「お風呂」です。自然の緑を眺めながらゆったりとお湯につかり、贅沢な時間を過ごしていただけると思います。また、援助方針は「自主性の尊重」

です。「今日は何をして楽しもうか」と、ご利用者自身にデイでの過ごし方を決めていただき、われわれスタッフは、利用者の方の希望に沿うよう取り組んでまいります。地域やボランティアの方々のお力添えを頂き、多種多様なアクティビティを用意し、利用者の方とともに、自然の中でゆったりとした時間の経過を感じていただくと考えています。

なにぶん今回初めて取り組むことが多くあり、至らぬ点も多々あると思えます。多くの方に足を運んでいただき、ご意見を頂戴できればこれに勝る喜びはございません。地域の皆様の眼差しとともに、祥雲館が成長していきますよう努めて参ります。

笑 雲

しょう

うん

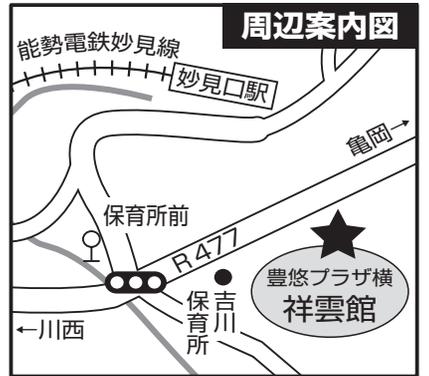
第37号
発行
平成20年7月13日

祥雲館

社会福祉法人 桃林会

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1

TEL: 072-733-2301
FAX: 072-733-2303



周辺案内図

竣工式



吉川の祥雲館新館が完成し、去る6月19日に竣工式が行われました。式典では町関係者、地域自治会関係者等多数のご来賓にご参列いただき、新たなスタートを見守っていただきました。式典に引き続き施設見学会、ミニコンサートが行われました。



ショートステイのボランティアさん募集

吉川新施設で、利用者さんとのんびりお話してみませんか?

ゆったりと楽しい時間をご利用者と共に共有して頂ける、お話相手の方を募集しています。お気軽にご連絡下さい。(8月1日より)



TEL.072-733-2301

担当/植村または松本までお問い合わせ下さい。

委員会だより

広報委員会

新しい施設の開設に伴い、今年度より委員会の再編をしました。新しい委員会は、広報委員会、地域啓発ニーズ調査委員会、地域交流行事委員会、安全衛生委員会、食事サービス委員会などです。これまで行ってきた様々な委員会活動を発展させる形で、ご利用者へのサービス向上や地域の方々とのふれあいなどの活動を行っていきます。今回は、我ら広報委員会について紹介します。広報委員会では今までの活動であった広報紙「笑雲」を隔月の発行を継続し、今まで以上にこれからの祥雲館の活動や情報を地域のみなさまへ発信していきます。楽しい内容であり、地域のみなさまの目に留まる様な広報紙にしていきたいと思っています。またインターネット上にホームページを開設しました。定期的に更新していきますので、覗いてみてください。

広報委員会委員長 坂井田 賢二



<http://www2.gol.com/users/syownkan/>



編集後記

私事ですが、今年の4月で30歳になりました。大台という感じです。「まだ、若いよ」等言われまして、自分もそう思って日々生活していますが、筋肉痛が朝ではなく夜になったり、疲労感も以前より抜け難く感じてしまいます。年齢を無視は出来なくなってきたのでしょうか。しかし、職場でのソフトにせよ、地元の野球にせよ、趣味にせよ、まだまだ若い者には負けてはられません。そのためにも日頃からの運動をし、今流行りのメタボリックにも気をつけて、楽しく、高い目標を持って運動していきたいと思えます。男30代まだまだこれからです。

(坂井田)

次回の発行は平成20年9月14日(日)です

いちご狩り



春の穏やかな天候とも、特養ホーム4階は4月に、また、シヨートステイは6月に、能勢町にある中川農園に「いちご狩り」に出かけました。この企画はご利用者のリクエストから始まりました。「みかんとか栗とかはあるんだ



けど、いちご狩りは行った事がないから」という声が上がりました。当日はお天気にめぐま

れ、参加された方も、たくさんのおいちごを美味しく召し上がられていました。この時期だからこそ、出来るこの様な催しものもこれから出来る限り行っていききたいと思っています。

リハビリティ豆知識

今年、例年より早い梅雨入りでした。雨降りは嫌ですね！

さて、今回は、5月号で示したアンケート結果につきまして、私の感想を述べたいと思います。結果を眺めていて、まず感じたことは、何も特異な場所、環境、生活で転倒しているわけではないということですね。多分以前と同じ行動をしていたのに、転倒してしまった、つまずいた、滑った、ということがあったのだと思います。何故でしょうか？

よく運動会のシーズンに転倒している親御さんのニュースが流れていきます。少し乱暴だけどそれらを連想しました。「こんなはずではなかった…」と。そうですね、確実に体力は低下しています。この当たり前の事を認識する事がとても大切だと思います。認識すると言う事は意識する事とも言えます。

自分の生活の中でこの場面は危険だと察知する事や、生活環境が自分の運動機能に適したものかどうか一度観察してみることをおすすめします。

身の周りの環境整備や自分の運動機能に対して意識を持つことが不慮の事故を防ぐ一歩になるのではと考えます。その際には、先の号でお伝えしましたキーワードの「ぬかづけ」をいま一度考えてみてください。

楽しみは
そぞろ読ゆる書の中に
我とひとしき 人をみし時
橘 曙覧

デイサービスセンター 祥雲館
理学療法士 大西憲久

